



夏期講座特集その1 多くの先生方にご参加いただきました！

今年度の夏季休業中、教育センターにおいては、合わせて52本の研修講座を実施し、延べ約1900名の教職員の方々にご参加いただきました。多くのご参加ありがとうございました。

夏の研修講座から小学校・中学校・高等学校の各教科、及び特別支援教育・情報教育に関する8本の講座の様子を、142・143号の2号にわたって掲載します。今回は、その内5本の研修講座をご紹介します。

教科についての講座 ～小学校理科、中学校社会科、高校地理歴史科～

小 小学校理科講座(子どもが主体的に問題解決に取り組む授業づくり)…7月29日(水)



これからの理科教育を語られる日置先生

仁比山小学校の内田先生には、3年生での授業実践を通して理科力向上サポートの取り組みを紹介いただき、児童が主体的に問題解決に取り組む授業づくりを考えました。

その後の演習では、グループごとに授業計画案を作成し、紹介し合うことで、理科の授業づくりについて考えを深めました。どのグループも意欲的に話し合

い、素晴らしい授業計画案を作成することができていました。

また、元文部科学省初等中等教育局視学官の日置先生の講義では、理科教育の重要性とこれからの方向性、授業づくりのポイント等について、とても分かりやすく話していただき、3時間が短く感じられました。受講者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



作成した授業計画案を紹介し合いました

<受講者の声>

- ・内田先生の実践発表では、事象Aと事象Bを比較する事象提示から授業を組み立てる方法について、3年生の実践事例を挙げて教えてもらったことが良かった。
- ・日置先生のお話では、理科のこれからの重要性、どう授業を構築していかなければならないのか、その本質を教えてもらって、大変良かった。
- ・理科における授業計画案の作成は、私自身1番知りたかった内容であった。また、他の先生方と実際に計画を立てたことで、計画のポイントが見えてきて、授業改善に役立ちそうだ。

中 中学校社会科I講座(基礎・基本の習得を図る授業づくり)…8月7日(金)

この講座では、2人の講師を招き、多くの実践事例を紹介していただきました。西部中学校の田中先生には、江戸時代の百姓一揆を題材に歴史の模擬授業を行っていただき、成章中学校の原先生には年間計画に沿って地理的な見方や考え方を身に付けさせる実践例を紹介していただきました。午後からは、基礎的・基本的な知識・技能を習得し活用させる授業改善について、アクティブ・ラーニングの視点から演習・協議を行いました。受講者の関心も高く、アクティブ・ラーニングについての意見交換やワークシートの作成にも意欲的に取り組まれていました。



アクティブ・ラーニングについて

<受講者の声>

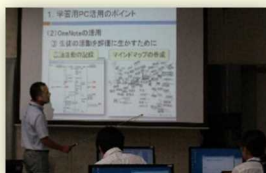
- ・新しい社会科の動きを学ぶことができた。また、実践も多く、2学期からの授業に生かしていきたいと思います。
- ・実践発表では、模擬授業で授業の実際の様子を体験できたことと、実践の積み重ねを多く紹介していただいたことで自分も頑張らねばと感じた。
- ・演習・協議で、授業で使用しているワークシートを相互に解説し、確認することができたことが良かった。また、ワークシートをアクティブ・ラーニングの視点から修正・改善したことで、社会科におけるアクティブ・ラーニングとは何かを考えることができた。



実践事例を紹介される
内田先生

講座を通じて、地理歴史科の授業づくりと学習用 P C の効果的な活用について受講者の皆さんと考えました。午前、学習指導要領のポイントや学習用 P C 活用の視点等を確認しました。続く実践発表では、武雄高校の内田先生に、具体的な活用事例や日々の活用を通じて感じた成果・課題について紹介していただきました。

午後は、学習用 P C の OneNote を活用した話し合い活動等を取り扱いました。また、参加者相互で授業アイデアを交換していただきました。お互いの取り組みを知ることで明日の授業づくりの参考となられたようです。



OneNote の活用例を
提案しました



学習用 P C を活用した
話し合い活動の演習

<受講者の声>

- ・学習用 P C について、「どの場面で使うのか」を意識することが大切であることを学んだ。普段の授業で、導入やまとめを意識することがないので、特にまとめの場面でもっと活用できるのではないかと感じた。
- ・内田先生の実践発表では、具体的な実践事例から学ぶことができ、今後の授業づくりの参考になった。
- ・評価に生かしたり、話し合い活動の設定に生かしたりする OneNote の活用方法について知ることができて良かった。

教科・領域以外の講座 ～特別支援教育・情報教育～

特別支援学校におけるコミュニケーション支援講座(I C T 機器の活用を通じた支援)… 8 月 26 日(水)



たくさんの機器を並べての
大杉先生の講義

特別支援学校における I C T 機器を活用した児童生徒のコミュニケーション支援について、熊本大学教育学部准教授の大杉成喜先生を招いて講座を実施しました。

今年度の講座では、学習用 P C を使って教材を簡単に作成する演習を取り入れました。また、児童生徒の実態から指導目標や支援機器の活用の仕方等について、グループでの演習も行いました。

当日は、大杉先生がお持ちになった、教育現場で実際に使用されているたくさんの機器を操作する体験もできました。受講者は、児童生徒のコミュニケーション能力の可能性を広げることができる I C T 機器の有効性を実感されていました。



A・T コンシダレーション
シートを使っての模擬会議

<受講者の声>

- ・言葉ではうまく表現できない児童は、指を使うだけでなく、体のいろいろな部位を使って自己表現ができるということが分かった。
- ・具体的な事例を交えながら話をしてくださり、大変分かりやすかった。また、演習では、同じ境遇の方がいて、話しやすく、他の人の考えを聞くことができた。
- ・ I C T 機器の利活用方法を具体的な場面を取り上げて話してくださり、機器の有効性をより感じる事ができた。学校現場においてアシスティブ・テクノロジー(A・T)をよりよく活用できるようになるために、私たちももっと勉強していく必要があると感じた。

初めての Excel 講座(校務処理等に活用できる操作技術の習得)… 7 月 21 日(火)

校務処理等の効率化を図るための基本的な Excel の操作方法について、センター所員による講義と実習を行いました。セルの書式設定、データ入力的基础と応用、基礎的な関数の入力、条件付き書式設定などの基本的な操作方法について、センター所員が作成した教材を用いて、実際に操作しながら行いました。受講者の皆さんは、終始熱心に取り組まれ、Excel の基本的な操作技術を習得されていました。これまでより校務において Excel を活用していただけることと期待しています。



皆さん集中して P C 演習に
取り組まれていました！

<受講者の声>

- ・受講者のレベルに合わせてクラス分けがなされており、効率よく研修できた。
- ・説明がとても丁寧で、パソコンが苦手でも分かりやすく操作できて良かった。
- ・細かいところが分からず困っていたが、実際に同一歩調で進めてもらい、大変分かりやすかった。日ごろの謎がすっきり解けて本当に良かった。
- ・関数やグラフ、差し込み印刷等、知りたかった内容を具体的に学べて良かった。
- ・CD-ROM で資料を持ち帰ることができるので、校内 OJT 等にも役立ちそうだ。

今回は、高校の先生方向けに2学期の研修に役立つトピックを取り上げます。1つはまだ定員に余裕がある講座について、もう1つは授業づくりに役立つ図書についての紹介になります。先生方の今後の研修に参考にしてください。

「センター講座」まだ申込みができます！【高校教員対象】

高校の先生を対象とした講座で、まだ定員に余裕がある講座をピックアップしました。

授業づくりに関する講座では、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりや、ICT利活用について提案する研究授業を実施する講座等が目白押しです。また、公開講座では、1日の講座の内容の内、大学の先生方の講義等一部のみ聴講できます。「半日出張しやすい」「大学の先生から明日の教育活動につながる貴重な情報を聴くことができる」等大変好評です。

是非、受講・聴講をご検討ください！



ICT利活用の授業事例も！（昨年度の研究授業より）

※講座の詳細な日程・内容等は、教育センターWeb「研修講座案内」の実施要項でご確認ください。

<http://www.saga-ed.jp/tanken/kouzaannai/index.html>

授業づくりに関する講座

9/25(金)	高等学校における特別支援教育講座(生徒の誰もが学びやすい学習環境を取り入れた授業づくり)	
10/27(火)	高校家庭科II講座(思考力・判断力・表現力を高める授業づくり)	授業
10/28(水)	高校化学講座(主体的に問題解決を図る能力と態度を育てる授業づくり)	授業
10/29(木)	高校国語科II講座(ICTを効果的に活用した授業づくり)	授業
10/30(金)	高校英語科II講座(ICTを活用した授業づくり)	授業
11/13(金)	高校地理歴史科II講座(思考力・判断力・表現力を高める授業づくり)	
11/25(水)	高校生物II講座(言語活動の活性化を目指した授業づくり)	

公開講座(講座の一部を聴講)

10/15(木)	[公開講座]認知行動療法の理論を用いた支援講座	
11/6(金)	[公開講座]不登校児童生徒の理解と支援講座	
11/17(火)	[公開講座]家族療法の理論を用いた支援講座	

高等学校以外の方も聴講できます！

※上記3つの公開講座は、3日の日程で開催される「教育相談講座(支援編)」の一部を聴講する形になります。複数希望される場合は「教育相談講座(支援編)」の受講も是非ご検討ください。

短期研修担当直通：(0952) 62-5212
※管理職を通じてお問い合わせください。

「おすすめ図書」～高校での授業づくりの参考に～

今回の「おすすめ図書」コーナーは、高校での授業づくりのアイディアに関するものをご紹介します。『歴史的思考力を伸ばす世界史授業デザイン』については、図書資料室にも蔵書がありますので、是非ご利用ください。

世界史の授業づくりのアイディア

『歴史的思考力を伸ばす世界史授業デザイン』（福井憲彦・田尻信壹〔編著〕／明治図書）

歴史を学ぶ意味は何なのでしょう。本書には学習指導要領の趣旨を生かした世界史授業デザインについて、世界史の見方・とらえ方のヒントや授業づくりのポイントに加え、単元ごとの具体的な授業モデルが豊富に入っています。折しも次期学習指導要領では必修科目としての『歴史総合』が示されました。同シリーズの『学力を伸ばす日本史授業デザイン』も共に読まれることをお勧めします。

(副所長 福田浩一郎)

遊びながら科学を学ぶ！

『サクッと！化学実験』（山田 暢司 著／dZERO）

科学リテラシーの低下が叫ばれて久しいですが、近年の科学技術は著しく進歩しています。例えば、1980年代に8ビットのパーソナルコンピュータが出始め、5インチの256KBのフロッピーを使用していたと記憶していますが、30数年経った今では、想像できないIT革命が進んでいます。本書は、身近な題材を用いた実験や不思議な科学現象を満載に取り入れた実験ガイドブックです。先生として、また親として、子ども達の科学的な興味を伸ばすために、遊びの一環として利用できる一冊です。

(研修課長 時貞充尚)